



# 子どもの命綱

守られるべき存在であるはずの子ども。しかし、親や親に代わる保護者から子どもへの健康状態を損ねる「子ども虐待」が深刻な社会問題になっています。

## 子ども虐待の4つのタイプ

### ネグレクト（保護の怠慢、拒否）

- 子どもの発育、健康に必要な衣食住の世話をせずに放置する
- 病気やけがをしても病院に連れていかない
- 乳幼児を家に置いたまま、度々外出する
- 極端に不潔な環境で生活させる

### 身体的虐待

- 殴る、蹴る、たばこの火を押し付けるなど体に傷を負わせる
- 生命に危険のあるような行為



### 性的虐待

- 性的ないたづらをする
- 子どもへの性交や性的行為を強要する
- 性器や性交を見せるなどの行為をする



### 心理的虐待

- ひどい言葉で子どもの心を傷つけることを繰り返す
- 極端な無視により子どもの情緒を不安定にさせ、心理的な傷を負わせる
- 他の兄弟と著しく差別的な扱いをする
- 子どもの目の前で家庭内暴力（DV）を行う

### しつけと体罰は異なります

「子どもが言うことを聞かないとき、この子どもを叩いてしまおう」「子どもは言ってもわからないから、叩いて言う聞かせてやる」というのはよく聞く話です。

ほとんどの親は、自分の子どもに対してイライラすることがあるものです。時には手が出てしまうこともあるでしょう。しかし、体罰は子どもに恐怖心を与えるだけです。また、体罰はエスカレートし、歯止めがきかなくなるものです。根気よく子どもと向き合って、ゆくり話しかけ、諭す努力をしてみましょう。すぐには分からなくてもだんだんと理解できるようになります。

### 一人で悩まず相談してみませんか

子どもはなかなか親の思い通りにならないものです。育児についての不安や悩みは誰もが抱えています。負担感や不安感は、一人ではコントロールできません。家庭児童相談室では皆さまの子育ての相談にのっています。お気軽に相談ください。

## 新百歳・カジマヤー 慶祝訪問

おめでとうございます いつまでもお元気で

問い合わせ 福祉給付課 ☎876-1234(内線 3567)



砂川 正三郎さん 新百歳

健康の秘訣は、自分でできることは自分でやること。体を動かすことが好きで、グランドゴルフを趣味としていた。食欲も旺盛で、好き嫌いはない。毎日の晩酌に泡盛の牛乳割りを1杯たしなんでいる。



當山 秀さん 新百歳

若い頃から働き者で、大平婦人会でも活躍。ゲートボールとカラオケが大好きで、ゲートボールチームのリーダー的存在だった。明るく、何事も前向きに考える性格でマイペース。くよくよしないことが長生きの秘訣。



又吉 カメさん カジマヤー

ひょうきんな性格で、デイケアで踊るのが大好き。訪問したときも市長にカチャーシーを披露。

浦添市では今年新百歳を迎えた方が19人、カジマヤー(97歳)を迎えた方が47人います。  
9月16日「敬老の日」に松本市長は今年、新百歳とカジマヤーを迎えた66人の方の中から、5人の方のお宅へ、慶祝訪問をしました。  
訪問先では、総理大臣、県知事からの祝辞や記念品とともに市からも目録が贈呈され、松本市長からお祝いの言葉が贈られました。家族に囲まれながら、市長と歓談する5人の方は、幸せいっぱいの笑顔でした。



當間 ツルさん カジマヤー

自宅の周辺は坂道が多いが、毎日の上り下りで、足腰が強い。旅行好きで全国を旅するのが健康の秘訣。



宮良 フク子さん カジマヤー

毎日バランスよい食事を自分で考え、3食自炊。デイケアで体を動かすのが日々の楽しみ。



オレンジリボンキャンペーン  
オレンジリボンには子ども虐待を防止するというメッセージが込められています。浦添市では、11月の虐待防止推進月間にオレンジリボンキャンペーンとして様々な取組を行います。  
●オレンジリボンキャンペーンステッカーを貼った公用車が11月期間中走ります。  
●11月13日、14日、15日の3日間、市内の大型店舗前でオレンジリボンキャンペーンチラシを配布します。  
●女性に対する暴力をなくす運動週間(5ページ掲載)と連携して「児童虐待防止パネル展」を11月12日から25日まで市役所1階市民ホールで開催します。

虐待かな?と思ったら  
すぐお電話を

浦添市児童家庭課  
☎876-1234(内線7326,7313)  
沖縄県中央児童相談所 ☎886-12900  
浦添警察署 ☎875-0110